

第2次大台町総合計画 前期基本計画

令和2年度分 成果指標にかかる実績値及び評価

令和3年5月

1-地域コミュニティ 2-子育て 3-行財政改革

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
1-地域コミュニティ / 地域活性化支援事業補助金活用団体 / 企画課			.					.
地域の特色を活かした自主的かつ主体的な地域活動を支援します。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	3団体/年 3団体/年	2	H30年度からR2年度は、それぞれ2団体の申請となり目標の3団体に届かなかったが、事業実施により地域の自主的な地域づくりにつながったと考える。今後も継続して事業を実施し自主的な地域活動を推進する。	3	4	2	2
2-子育て / 婚活サポーターによる引き合わせ件数 / 企画課								
婚活サポーターによる引き合わせを行い、結婚に結び付く支援を行います。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	0件 40件	0	4年間で13件の引き合わせを行ったが、カップリングや成婚には至らなかった。縁結びラボ・婚活サポーター事業については、未婚化・晩婚化を改善し少子化対策に寄与することを目的としていたが、実際には利用登録者の年齢層が異なっていること、またサポーターは面識のない利用登録者を引き合わせることに對して負担となっており引き合わせが難しいなど、当初の目的を果たしていない状況であるため、令和2年度をもって事業を終了した。	0	3	7	3
3-行財政改革 / 職員数（普通会計部門職員数から医療施設職員数（26年度末29人）を除く） / 総務課								
職員一人ひとりの資質向上と併せて職員数を計画的に削減します。	基準値（H27） 目標値（R2）	141人 136人	137	国体推進室の設置で増員などあったが、それらを踏まえても概ね目標値は達成できた。	145	143	141	134

基本目標 1. 美しい環境のまちづくり

1-景観・公園 2-上水道 3-生活排水処理・し尿処理 4-環境保全・ごみ処理 5-地籍調査 6-新エネルギー

施策 / 成果指標項目 / 担当課		基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
1-景観・公園 / 沿道景観林の整備 / 森林課									
宮川の両岸を中心とした景観林整備を計画的に実施します。		基準値（H27） 目標値（H29-R2）	0.6ha/年 2ha/年	1.15	「ほっとする道ばた森林整備事業」を実施し、宮川両岸の景観林整備を行いました。事業実施箇所の条件等により年度毎の整備面積に差はありますが、令和元年度末までに目標値を達成しています。 なお、「ほっとする道ばた森林整備事業」は令和元年度で終了し、令和2年度からは「災害からライフラインを守る事前伐採事業」に切り替え、電線等のライフラインを倒木被害から守る事業を実施しており、その実施面積は1.15haとなります。新たな事業では、ライフラインの保全が第一となりますが、景観林整備にも引き続き配慮しながら事業を進めています。	0.85	0.44	0.76	0.45
2-上水道 / クリプト対策 / 生活環境課									
全5施設において対策を実施することにより、安全な水道水を供給します。		基準値（H27） 目標値（R2）	60％ 100％	100	平成30年度に全ての施設において対策を実施し、安全な水道水の供給を実施しています。	60	80	100	100
3-生活排水処理・し尿処理 / 合併処理浄化槽整備による汚水処理人口 / 生活環境課									
整備補助金制度の継続により、新改築等における合併処理浄化槽の設置を進めます。		基準値（H27） 目標値（H29-R2）	101人/年 107人/年	79	年間107人の汚水処理人口の増加を目標に合併処理浄化槽の設置を進めてきました。しかし、人口減少の影響により目標達成に至りませんでした。汚水処理人口を増加できるよう努力します。	63	113	76	92
4-環境保全・ごみ処理 / 一人当たりの可燃ごみ排出量 / 生活環境課									
生ごみ堆肥化や古紙等の再資源化を徹底し、排出される可燃ごみの減量化を図ります。		基準値（H27） 目標値（R2）	560g/日 540g/日	531	令和元年8月よりプラスチックの分別が開始されたことにより、一人当たりの可燃ごみ排出量が減ったものの、まだ可燃に再資源できるものが含まれているので、これまで以上に減量化の推進に努力します。	557	561	575	530
5-地籍調査 / 既地籍調査実施面積 / 建設課									
実施対象面積291.79km ² のうち、公図混乱地域や要望箇所を優先的に実施します。		基準値（H27） 目標値（R2）	6.94km ² 7.48km ²	7.95	目標値7.48km ² に対し、7.95km ² の地籍調査を実施した。調査済地区を公図へ反映する作業を実施中である。取り組みを行ったことにより、公図の正確性の向上を図ることが出来た。	7.76	7.89	7.91	7.91

1-景観・公園 2-上水道 3-生活排水処理・し尿処理 4-環境保全・ごみ処理 5-地籍調査 6-新エネルギー

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
6-新エネルギー / 主要公共施設CO ₂ 排出量 / 生活環境課								
公共施設電気使用量及び公用車燃料使用量を抑制し、CO ₂ の排出量を5％削減します。	基準値（H27） 目標値（R2）	385,429kg 366,157kg	289,352	公共施設の電気使用量は毎年減少傾向にあります。特に令和2年度は公用車の燃料費が減少したのは、新型コロナウイルス対策により、ウェブ会議等で出張が減少したことが要因である。	379,368	390,330	367,385	329,603

基本目標 2. 産業振興と交流のまちづくり

1-農業 2-林業 3-水産業 4-地域資源 5-商工業・雇用 6-観光 7-地域間交流

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
1-農業 / 新規就農者 / 産業課								
農業の担い手となる就農者2名の創出を目標とします。	基準値（H27） 目標値（R2）	0名 2名	2	2名が新規就農され目標値の達成に至りました。1名は農業大学校を卒業した新規就農者で、イチゴのハウス栽培を開始し令和2年度より収穫が始まりました。もう1名は栃原・新田地区における新たな担い手による農地集積が進められています。栃原・新田地区では、これをきっかけとして集落ぐるみで農地や農業を守っていく方針「実質化された人・農地プラン」の策定にもつながりました。	0	0	1	1
2-林業 / 木材生産量 / 森林課								
基盤整備と流通体制の構築により一定の年間生産量を確保します。	基準値（H27） 目標値（R2）	6,857m³/年 10,000m³/年	13,112	林業事業体による高性能林業機械の導入や森林作業道の整備等が進んだことにより、年間の木材の生産量が年々増加しています。	10,662	10,140	11,144	11,987
3-水産業 / 鮎の出荷量 / 産業課								
施設の更なる有効活用により、出荷量の現状維持に努めます。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	6t/年 6t/年	4.5	新型コロナウイルス感染症の影響により、道の駅奥伊勢おおだいなどの販売店や町外河川漁協からの出荷依頼の減少により目標値達成には至りませんでした。 一方、コロナ禍により屋外で行う釣りが人気となっていることから、今後は町外河川漁協からの出荷依頼が期待されます。引き続き、今回の目標値とした6tの出荷に向けて努力いたします。	4.5	4.5	5.8	5
4-地域資源 / 特産品加工施設の売上高 / 産業課								
30年度中に加工ラインの機械化を行い、生産性の向上を図ることにより、損益分岐点となる売上額の達成を目指します。	基準値（H27） 目標値（R2）	35,311千円 67,400千円	46,316	平成30年に新施設を整備し、同年11月から供用開始しました。令和元年度は新施設での通年稼働となりましたが、1,400万円ほどの純損失を計上したため、原価率の改善や商品の改廃、組織体制の強化などの経営改善に取り組み、大きく赤字幅を減らすことが出来ましたが、売上高の目標値は達成できませんでした。現状として、目標値達成のハードルは非常に高いですが、主力商品の原材料となる柚子果汁の販売先の確保が課題として明確となっており、施設を指定管理で運営する㈱宮川物産は新たな販路開拓に向けて全力で取り組んでいます。	37,216	38,013	37,279	49,068

基本目標 2. 産業振興と交流のまちづくり

1-農業 2-林業 3-水産業 4-地域資源 5-商工業・雇用 6-観光 7-地域間交流

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
5-商工業・雇用 / 起業誘致数 / 産業課								
大台町版起業誘致制度（大台町地方創生ビジネスパートナーシップ事業）を活用した起業や新規事業を創出し、産業の活性化を図ります。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	0/年 1/年	0	本制度への申請実績はありませんでした。厳しい社会経済情勢に加え、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大により、本制度への民間企業の参入が見込めないのが実情です。第2次大台町総合計画前期基本計画策定後、現在の大森町長が就任し、企業誘致を推進することとなったことから、制度の廃止を検討しています。	0	0	0	0
6-観光 / 観光入込客数 / 産業課								
マーケティング及びマネジメントに基づいた観光振興への取組により、観光入込客数の増加を図ります。	基準値（H27） 目標値（R2）	446千人/年 475千人/年	468	新型コロナウイルス感染症拡大防止による国や県の外出規制により観光入込客数は目標値を下回りました。しかしながらコロナ禍でも安心して遊べる自然体験への需要が高まっていること、働き方の変化によるワーケーションへの需要があるなど、今後はwithコロナ・afterコロナの視点での観光振興に注力してまいります。	629	607	581	550
7-地域間交流 / ボートクラブ数 / 教育委員会								
国体開催に向けて、ボートクラブを育成し、水上スポーツを通した町の活性化につなげます。	基準値（H27） 目標値（R2）	1クラブ 3クラブ	4クラブ	目標値を達成しましたが、水上スポーツ人口が増え、町の活性化につながったとは思われません。活性化につなげるためにクラブ数の増だけでなく、新たな方策が必要と思われます。（宮川ボートクラブ、大台中学校クラブ、昂学園クラブ、大台町役場ボートクラブ）	1	3	4	4

基本目標 3. いきいき健康・福祉のまちづくり 1-児童福祉 2-高齢者福祉 3-障がい福祉 4-健康 5-介護 6-医療

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
1-児童福祉 / 延長保育充足率（利用者/利用希望者） / 町民福祉課								
通常保育はもとより、延長保育についても、全ての利用希望者が利用できる環境を維持します。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	100％ 100％	100	計画期間全てにおいて、延長保育充足率100％を達成した。 全ての利用希望者が利用できる環境を維持できた。	100	100	100	100
2-高齢者福祉 / 救急医療情報キット配布率 / 町民福祉課								
75歳以上の単身世帯等を対象としてキットを配布し、緊急時における迅速な医療活動につなげます。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	0％ 85.0％	67	計画期間中を通して、目標値まで到達しなかったが、地域包括支援センター等関係機関との連携により、実態把握と周知に努め、必要とされる方へ配布した。今後、さらに周知活動に努めていく必要がある。	80	76.8	80	73
3-障がい福祉 / 障がい福祉サービス利用数 / 町民福祉課								
障がい福祉サービスの制度啓発や相談支援事業の充実等により、サービス利用者数の増加を目指します。	基準値（H27） 目標値（R2）	77人/年 85人/年	92	委託による各種障がいの相談支援事業の実施により、制度の周知及び支援体制の充実を図ることができ、目標値を達成することができた。近年は障がい児支援に関する相談件数が増加傾向にある。	90	96	98	94
4-健康 / 気軽に参加できる運動教室の参加者 / 健康ほけん課								
歩こう会、ラジオ体操会に参加する人を増やし、運動の習慣化につなげます。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	220人/年 600人/年	ラジオ体操：0回0名 歩こう会：1回52名	歩こう会やラジオ体操等の運動教室を定期的に開催し、またイベントを行うことで町民の方々への「運動」の意識づけを行ってきました。H29年度をピークに書くきょうしつの参加者は減少傾向ですが自主グループ等で継続して行われており「運動」に対する意識づけはできつつあります。	739(歩こう会320、ラジオ体操会419)	1103(歩こう会276、ラジオ体操会827)	903(歩こう会319、ラジオ体操会584)	820(歩こう会259、ラジオ体操会561)
5-介護 / 介護保険認定率 / 健康ほけん課								
推計値に対して1.0％の抑制を図ることを努力目標とします。	基準値（H27） 目標値（R2）	21.3％ 24.0％	22.1	認定率は令和元年以降、増加しているが、目標値より△1.9％低く抑えられている。要因の1つとして、介護予防事業の効果が表れていると考える。	19.6	20.9	20.2	21.2
6-医療 / 診療体制維持のために確保する診療科数 / 報徳診療所								
報徳診療所における内科・眼科・整形外科の診療体制を維持します。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	3科 3科	3	内科医2名体制を維持し、眼科・整形外科は三重大学病院から派遣で体制の維持ができています。	3	3	3	3

基本目標 4. 教育・文化振興のまちづくり

1-学校教育 2-生涯学習 3-社会体育 4-人権・男女共同参画 5-歴史・文化遺産 6-郷土教育・人材育成

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値	R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
1-学校教育 / 学校教育に対する保護者満足度 / 教育委員会							
保護者への満足度調査結果の現状維持に努めます。	基準値（H27） 目標値（H29-R2） 85% 85%以上	90.1	計画期間の4年間はいずれも目標値を超えることができ、保護者から良い評価が得られました。今後は現状維持ができるよう学校経営に努めます。	83.2	88.3	90.3	91.1
2-生涯学習 / 放課後子ども教室実施回数 / 教育委員会							
小学校の放課後の居場所づくりや地域住民との交流を目的として、機会の増加に取り組みます。	基準値（H27） 目標値（R2） 106回/年 130回/年	81回/年	新型コロナウイルスの影響で令和元年度後半、令和2年度前半に事業が実施できない期間がありましたが、全期間を通じて、地域の方々に協力いただき、地域住民、親子との交流を図り、子供たちの自主性、社会性を伸ばす機会を作ることができました。 （リフレッシュ大台学園：53日（回）、自然学校：4校×7回＝28回）	111	91	137	116
3-社会体育 / 水上カーニバル、チャミーマラソン参加者数 / 教育委員会							
児童生徒の参加を促すなど、スポーツ大会への参加者数の増加を目指します。（）は高校生以下の人数。	基準値（H27） 目標値（R2） 631人 ^(197人) 780人 ^(250人)	0（0）	令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため両事業とも開催できませんでした。平成30年度の水上カーニバルは天候不良のため中止、令和元年度のチャミーマラソンはコロナ対策で中止のため参加者数が少なくなっています。全体的に若い世代の参加が少なく、学生等の参加を促していく必要があると思われます。	675 (234)	623 (192)	157 (91)	430 (67)
4-人権・男女共同参画 / 委員会等の女性委員の割合 / 企画課							
女性の意見を公平に施策に反映するため、行政における委員会等の女性委員の割合を高めます。	基準値（H27） 目標値（H29-R2） 20.4% 30.0%	26.2	毎年、各課に女性委員の登用についての周知を行い、女性委員の割合増加に取り組んだが、目標値を達成することが出来なかった。今後も引き続き第3次男女共同参画基本計画に基づき政策・方針決定過程への女性の参加促進を行う。	20.1	24.1	25.6	27.3
5-歴史・文化遺産 / エコパークのロゴを活用する団体数 / 企画課							
大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパークを活用する取組が進むよう、制度の周知等を図ります。	基準値（H27） 目標値（H29-R2） 0団体 50団体	2	大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク大台町推進委員会を中心に、ユネスコエコパークのまちとして情報発信に努めた。今後も、大台町推進委員会を中心に、より効果的な事業を行い、ユネスコエコパークの周知・活用を図る。	49	3	6	10

基本目標 4. 教育・文化振興のまちづくり

1-学校教育 2-生涯学習 3-社会体育 4-人権・男女共同参画 5-歴史・文化遺産 6-郷土教育・人材育成

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
6-郷土教育・人材育成 / 人材育成事業助成金申請者数 / 企画課								
まちづくりを担う多様な人材を育成するため、制度の普及に努め、必要に応じて制度の見直しを行います。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	5人/年 10人/年	2	H28年度は狩猟免許取得事業で10件の申請があったが、その後申請件数が減少している。R1年度は新たに観光ガイド等資格取得事業を追加し5件の申請があった。毎年広報へ記事を掲載し制度の普及に努めているが、申請件数が少ないため、今後は助成事業の見直しを行い新たな事業の追加等検討が必要である。	12	3	3	5

基本目標 5. 安全・安心のまちづくり

1-防災 2-消防・救急 3-情報・通信 4-地域公共交通 5-交通安全・生活安全 6-道路

施策 / 成果指標項目 / 担当課	基準値と目標値		R2	計画期間（H29－R2）における総括評価	H28	H29	H30	R1
1-防災 / 訓練等啓発活動実施地区数 / 総務課								
災害への備えを定着させるため、各地区における定期的な取組を推進します。	基準値（H27） 目標値（R2）	13地区/年 30地区/年	7	防災意識の向上から、食糧の備蓄や地区単位の防災訓練の実施など、自主的な取組として順調に推移してきたが、令和2年度は新型コロナの影響を受け、訓練の中止が相次いだ。定期的な備蓄品の入れ替えなどは取り組んでいただけた。	16	19	20	25
2-消防・救急 / 消防団員数 / 総務課								
充実した消防団活動のため、若年世代や女性の参加を促し、消防団員数を確保します。	基準値（H27） 目標値（R2）	362人 365人	333	若年層人口の減少等により、新規入団者数が減少しました。	357	357	342	342
3-情報・通信 / 広報紙の有料広告掲載率 / 企画課								
毎月2枠の有料広告欄について、上限数の広告の確保を目指します。	基準値（H27） 目標値（R2）	87.5% 100%	37.5%	R2年度は、ホームページ等で募集を行ったが目標値の100%に届かなかった。今後も引き続き、広報紙、ホームページで有料広告募集の周知を行う。	95%	83%	91.60%	45.8
4-地域公共交通 / 事故件数 / 企画課								
安全運行の最優先を徹底し、事故の発生を堅守します。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	1件 0件	0	平成30年度において単独事故1件が発生してしまいました、当時乗客はおらず、運転手についてもケガはなかったものの、多くの方が利用する地域公共交通事業を実施するうえで安全運行の徹底は必須であるため、今後はさらなる安全運行の励行に努めたい。	1	0	1	0
5-交通安全・生活安全 / 青色回転灯装着車による防犯パトロール活動 / 総務課								
定期的な防犯パトロールを継続実施することにより、犯罪等を未然に防ぎます。	基準値（H27） 目標値（R2）	24回/年 48回/年	49	担当部署に定期的にパトロールの実施を呼びかけることにより、当番の日だけでなく他業務で町内を走る際にも回転灯を装着しパトロールをする意識が向上し、目標回数を達成することができた。	24	31	34	46
6-道路 / 長寿命化橋梁数 / 建設課								
長寿命化対策が必要な橋梁を計画的に整備します。	基準値（H27） 目標値（H29-R2）	0橋 9橋	6 計16	目標値9橋に対し16橋の整備を行った。整備したことにより、橋梁の健全度を保ち、長寿命化を図ることが出来た。	6	2	5	3